

学校便り

令和6年11月13日



高甫っ子

NO. 13
須坂市立高甫小学校
文責



高甫小HPでもご覧いただけます

【学校教育目標】明日の日本をになう子ども たくましく かしこく ほがらかな 高甫っ子

創立150周年記念式典・ 山本貴志さん記念講演会・コンサート

150周年、そして未来に向けて



11月1日（金）、創立150周年記念式典、山本貴志さん記念講演会・コンサートが行われました。ご来賓の皆様・保護者の皆様・地域の皆様におかれましては、児童・教職員とともに150周年を祝ってくださり、大変ありがとうございました。



式典では、140周年記念のDVDをもとに、グーライト様や学校にある映像や写真を合わせて、グーライトが150周年記念DVDを制作してくださいました。高甫小学校のあゆみや現在の学校での学習や生活の様子を映像で見ることができました。

また、全校や各学年で取り組んでいる高甫地域ならではのふるさと「たかほ」学習について、児童代表が発表を行いました。150周年記念にPTAからは記念品（図書館書棚、テント、学校名板、歴代学校長名札）を贈呈していただきまして、大変ありがとうございました。大切に使用させていただきます。厳かな中での150周年を祝う式典が行われ、感慨深い思いでした。

世界のピアニスト：山本 貴志さんの記念講演会・コンサートでは、ショパンコンクール4位入賞をはじめ、様々な国内外でのコンクールでの入賞をされているだけあり、ショパンをはじめとする楽曲に心が震える素晴らしい演奏でした。「平和と希望、未来へ」をテーマに、ご自身がピアノを始めたきっかけや練習のことについてお話くださいました。また、ポーランドと日本に活動拠点を持たれているので、ウクライナとロシア、ポーランドのことについても、子どもたちに分かりやすくお話をしてくださいました。仲良くすることや相手のことを考えることの大切さを教えていただきました。「校歌」「ふるさと」「つばさをくださ



150周年記念実行委員長様



児童の発表



い」の歌を会場の皆様全員が山本さんの伴奏で合唱しました。感謝の気持ちを込めて、高甫小学校から、サプライズで「ビリーブ」(歌：全校児童、伴奏：高甫職員バンド)を山本さんに贈りました。山本さんも大変喜ばれていました。150周年を記念する大変感動的な催しとなりました。ありがとうございました。



山本 貴志さん



全員合唱



山本貴志さんから、CDをプレゼントいただきました。学校用や音楽室、お昼の放送でも聴かせていただいています。ありがとうございました。



感謝のサプライズ演奏「ビリーブ」



山本 貴志さんと記念撮影

創立150周年記念柿の皮むき体験会

【平和の柿：長崎被爆2世柿の木「タッキー」「ナッキー」のお話】

10月21日（月）から11月1日（金）まで、「平和旬間」を実施し、長崎被爆2世の柿の木について理解を深め、戦争の悲惨さと平和の大切さについて考える学習を行っています。

本校に2001年3月1日に植樹された長崎被爆2世の柿の木「タッキー」「ナッキー」が今年で22年目になります。「なぜ、柿の木が植えられるようになったのか？」について、全校児童が、下八町の



タッキー



ナッキー

様からお話を聞きました。



平成8年信濃毎日新聞に「長崎で原子爆弾を受け黒焦げになった柿の木を樹木医の先生が助けたいと介護し、その木の柿の種を1000粒蒔き450本芽が出た被爆2世の子どもの柿の木を差し上げます」という記事が載せられました。それを読んで感動したさんが、子どもの柿の木をもらいうけ、平和や命の大切さ、戦争の悲惨さを学習できたらいいと思い、当時の校長先生に相談し2本植樹することになったそうです。「桃栗三年柿八年」のことわざのように種から

8年かけてやっと実をつけるように、どんなことでも、成し遂げるには時間がかかるのでがんばることの大切さをお話されました。最後に、①戦争の恐ろしさ、被爆の悲惨さを忘れないで、未来へ向かって平和な社会を築くこと②命の尊さ、平和の大切さ、人の心の痛みのわかる人になってほしい③けんかやいじめがなく、みんなで仲良くする④ふるさと高甫を忘れないでほしい⑤だれもが平和と思える未来をつくるため、みんな一人ひとりがこころがけてほしい、5つの願いについて、子どもたちに伝えていただきました。そして、全国へ、世界へ、このことを発信してほしいとメッセージをいただきました。本校が被爆2世の柿の木を通して、平和について学習をしてきていることの大切さを感じ、行動できる子どもたちに育ててほしいと願っています。ありがとうございました。



【柿の皮むき体験会】

高甫地域づくり推進委員会の皆様やPTA役員の皆様のご準備やご協力により、柿の皮むき体験会が行われました。体育館に全校が参集し、縦割り班で地域づくり推進委員の皆様から皮のむき方やむいた柿のつるし方を教えていただき、高甫地区内で収穫していただいた柿の皮むきにチャレンジしました。子どもたちはナイフを手にして集中して皮むきをしていました。高学年の子どもが低学年の子どもに面倒を見るほほえましい姿も見られました。今年は150周年記念として、各グループで一番長い皮の児童を紹介しました。今年も無事に、柿の皮むき体験会を行うことができました。柿は南校舎2階のベランダにつるしました。オレン



柿の皮むき



皮の長さ比べ



柿をつるす

ジのカーテンができ、秋の風物詩として、とても綺麗です。しばらくすると甘みが出ておいしい干し（コロ柿）になります。柿の里「高甫」のふるさとを大切に、地域の皆様との交流を大切に活動、大変ありがとうございます。

創立150周年記念歴史博物館

150周年の高甫小学校の歴史やあゆみ、周年行事の時の様子について、写真や歴史遺産の展示を行っています。11月12日（火）～29日（金）8：30～16：30までご覧いただけます。来校時・退校時は事務室にお声をかけてください。お願いします。



寄贈、ありがとうございました

市内4校で実施した「小さな親切」運動須高支部主催「学校寄席」で出演された紙切り家： 師匠から、150周年記念にと紙切り作品を寄贈いただきました。「平和の柿 タッキー・ナッキー」他をいただいております。感謝申し上げます。児童玄関に掲示してありますので、ご覧ください。



澄んだハーモニー、堂々と発表 ～市内親善音楽会～

11月8日（金）、須坂市卒業学年親善音楽会がメセナホールで行われました。

本校の6年生が参加をし、音楽会でも発表をした「ふるさと」を堂々と歌い上げました。澄んだ歌声で柔らかなハーモニーが美しく、ホール全体に思いのこもった歌声が響き渡りました。卒業まであと5ヶ月となりましたが、高甫小学校の看板として、とてもよく頑張っているすばらしい6年生です。

